

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

開催月日	令和6年11月18日(月)～11月20日(水)		
開催時間	18日(12時30分～17時15分)、19日(9時～18時)、20日(9時25分～10時30分)		
開催場所	滋賀県大津唐崎2丁目13-1		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和6年度 市町村議会議員研修[3日間コース] 第2回新人議員のための地方自治の基本		
講師等の氏名等	①同支社大学政策学部 大学院総合政策科学研究科 野田遊 氏 ②福津市議会元議長 江上隆行氏 ③武庫川女子大学経営学部 教授 金崎健太郎 氏 ④元衆議院法制局参事 吉田利寛氏 ⑤駒沢大学 名誉教授 大山礼子 氏		
内容・結果等	11月18日		
	【講義】： 地方自治制度の基本		
	【講義】： 元議長が語る「住民から近くて遠い地方議会から近くて近い地方議会」への一考察		
	11月19日		
	【講義】： 地方議会と自治体財政		
	【講義】： 条例と政策の審査・立案		
	【講義】： 条例演習（意見交換・発表・まとめ）		
	11月20日		
	【講義】： これからの地方議員に期待されていること		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金	全国市町村国際文化研究所	11,000
	振込手数料		385
	旅費	バス	1,080
	旅費	九州旅客鉄道株式会社	18,790
	旅費	東海旅客鉄道株式会社	19,660
	合 計		50,915

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1	嬉野市議会議員		水山 洋輔
開催月日	令和6年11月18日(月)		
開催時間	13時～16時00分		
開催場所	滋賀県大津唐崎2丁目13-1		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和6年度 市町村議会議員研修[3日間コース] 第2回新人議員のための地方自治の基本		
講師等の氏名等	同支社大学政策学部 大学院総合政策科学研究科 野田遊 氏		
内容・結果等	【講義】：「地方自治制度の基本について」		
	【内容】： 地方分権、財政、行財政改革、市町村合併、広域連携、行政再編、自治体議会、自治体組織、ガバナンス、政策、広報の11の項目について地方自治の役割や目的について。議会の役割については地方自治法第89条に明確に規定してある。議会は、予算や決算のチェックと一般質問などを行うことで、議会として、監査機能を図る事が重要。問題の抽出のためには認識型ではなく、問題の本質を見つける事が重要。行政や議会に対して住民の認識は低いが期待される水準は高い。住民の満足度を上げるためには住民対話が必要。広報の効果は持続しないため、継続し続けることが重要。		
	【まとめ】： 議会や議員に対する市民の満足度については、どのような方法で取り組みば関心を持ってもらえるかと良く考えるが、議会だよりや語ろう会など、日々の広報活動を継続していくことの重要性を再認識した。		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	合 計		0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

開催月日	令和6年11月18日(月)		
開催時間	16時15分～17時15分		
開催場所	滋賀県大津唐崎2丁目13-1		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和6年度 市町村議会議員研修[3日間コース] 第2回新人議員のための地方自治の基本」		
講師等の氏名等	福津市議会元議長 江上 隆行 氏		
内容・結果等	【講義】：「元議長が語る住民から近くて遠い地方議会から近くて近い地方議会への一考察		
	【内容】： 市民から議会や議員に求められることについて、江上氏の経験をもとに		
	20の項目に分けて議会の役割について聴講。議員は、全体の奉仕者としての言動を		
	心掛けなければならない。また、議会が議決した意見を尊重し、議会で決定した事実を		
	述べる事が重要である。一般質問は、実現していないことへ意見・提言を行う。		
	意見・提言のための根拠を準備し、要望発言は慎むべき。		
	定例化の間で所管事務調査等を行い行政と議会の情報量を対等にする事が重要。		
	予算で可決したあとの決算でしっかり効果の確認をする事が重要。		
	【まとめ】： 議員の心構えとして、常に公平公正であるべきと再認識することができた。		
	また一般質問の際には事実に基づいた資料を準備し発言に努め、市民の代表として		
	わかりやすい発言を心掛けて行えるようにスキルアップを図りたい。		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	合 計		0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

開催月日	令和6年11月19日(火)		
開催時間	9時～12時30分		
開催場所	滋賀県大津唐崎2丁目13-1		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和6年度 市町村議会議員研修[3日間コース] 第2回新人議員のための地方自治の基本		
講師等の氏名等	武庫川女子大学経済学部 教授 金崎健太郎 氏		
内容・結果等	【講義】：「地方議会と自治体財政」		
	【内容】： 地方交付税は、地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、どの地域においても一定の行政サービスを提供できるよう財源を保証するもの。地方交付税の算定方法について、基準財政需要額(行政や施設の維持管理に必要なお金) — 基準財政収入額(標準的に徴収が見込まれる地方税収×75%)により普通交付税が算定される。		
	議会における予算案チェックのポイント、①予算全体への視点(予算規模、財源不足の発生の有無、一般財源の確保の状況)②健全な財政運営視点(将来の財政負担の見通しと抑制、義務的経費の状況、基金の積立・取崩しの状況、行財政改革の推進)③予算に盛り込ま政策・事業への視点。		
	【まとめ】： 国からの地方交付税交付金による一定額の必要な財源の保証はしてあるものの、高齢化による社会保障費の増や公共施設の維持管理など国、地方自治体共に多岐にわたる課題がある。公共施設などの長寿命化や更新などは、予算も多額になることが想定されるため、適切な財政計画と財源の確保に努めることが重要だと感じた。		
	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
上記活動に要した経費	旅費		
	合 計		0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員 水山 洋輔

開催月日	令和6年11月19日(火)		
開催時間	13時30分～17時30分		
開催場所	滋賀県大津唐崎2丁目13-1		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和6年度 市町村議会議員研修[3日間コース] 第2回新人議員のための地方自治の基本		
講師等の氏名等	元衆議院法制局参事 吉田 利宏 氏		
内容・結果等	【講義】：「条例と政策の審査・立案」		
	【内容】： 執行部の政策の特徴と議会からの政策提案。執行部は、首長の関心が高い政策(条例)とその他の政策。その他の政策においては、自治体で同じような施策になってしまう。政策提案における議員提案条例。乾杯条例(元手のいらない地域振興策)、法律補完型条例(基本法が増え、ある意味で、国の法律が白地を埋めるよう求めている面もある)。新しい価値の提示型条例などがある。法律補完型条例が増えてきており、国が「それぞれの自治体で条例を定めるのはどうですか」と言っているようなもの。条例を作る意欲やスキルが必要。		
	午後から、課題に対してグループ演習を行う。		
	【まとめ】： 今回の講義において、法律補完型条例という言葉は初めて知ることができた。		
	また、新しい価値(講義では、手話条例やワンヘルス推進条例)の提示型条例なども学び、		
	今後は、ハラスメント等の条例なども研究をしていきたいと思う。議員提案による条例を		
	できるようにスキルアップに努めていきたい。		
	上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先
会場費			
講師謝礼			
出席者負担金			
会費			
旅費			
合 計			0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

開催月日	令和6年11月20日(水)		
開催時間	9時30分～10時30分		
開催場所	滋賀県大津唐崎2丁目13-1		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和6年度 市町村議会議員研修[3日間コース] 第2回新人議員のための地方自治の基本		
講師等の氏名等	駒沢大学 名誉教授 大山 礼子 氏		
内容・結果等	【講義】：「これからの地方議員に期待されること」		
	【内容】： 地方議会の課題、議員の構成において住民構成と比較して、60歳未満の割合が極めて低いなど、多様性を欠く状況。投票率の低下や無投票の増加傾向にあり、住民の関心が低下している。議会は遠い存在。政策決定に住民の意見が反映されていない。議会がなにをやっているのか見えない。多様な議員の参画により、①政策が変わる。②審議が活性化する。③住民の信頼が増す。これからの議会では過去の「しがらみ」にとらわれない議員の進出が欠かせない。		
	【まとめ】： 議会や議員の活動がしっかりと見える取り組みの重要性を感じた。議会を身近に感じてもらうために、当議会でも行っている、語ろう会は重要な取り組みだと思う。また、各委員会においても市民対話などによる課題の調査研究などにも取り組み、議会や議員の活動を通じて、市民の声を市政に届けることのできるようしなければならないと再確認した。議会広報を読んでもらえるための工夫にも注力したいと思う。		
	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
		合 計	0